

スポーツリスクマネジメントセミナー 「保護者視点で考える部活動の地域展開」

2025年12月9日(火)

16:35～17:05

公益財団法人笹川スポーツ財団

研究調査グループ

鈴木 貴大

1. 運動部活動への加入率
2. 運動部活動の活動状況
3. 運動部活動の活動状況と本人・保護者の希望
4. 運動部活動に対する保護者の期待
5. 運動部活動の地域展開に対する保護者の意見
6. 運動部活動の地域展開に対する保護者の期待
7. 運動部活動の地域展開に対する保護者の心配や不安
8. 保護者が安心できるクラブ運営とは

笹川スポーツ財団（SSF）は、「実践型のスポーツ専門のシンクタンク」として、客観的な分析・研究に基づく実現性のある政策の提言・提案、そしてその政策をさまざまな機関や組織と連携・実践し評価・検証する、あるいは、実践活動を通じたさまざまな社会課題を調査・研究に反映するといった「ドウタンク」の機能を活かしつつ、Sport for Everyone社会の実現を目指します。

Sport for Everyone社会の実現



調査・研究



実践・連携



SSF理事長×首長 対談動画



宮城県角田市との連携

1.運動部活動への加入率

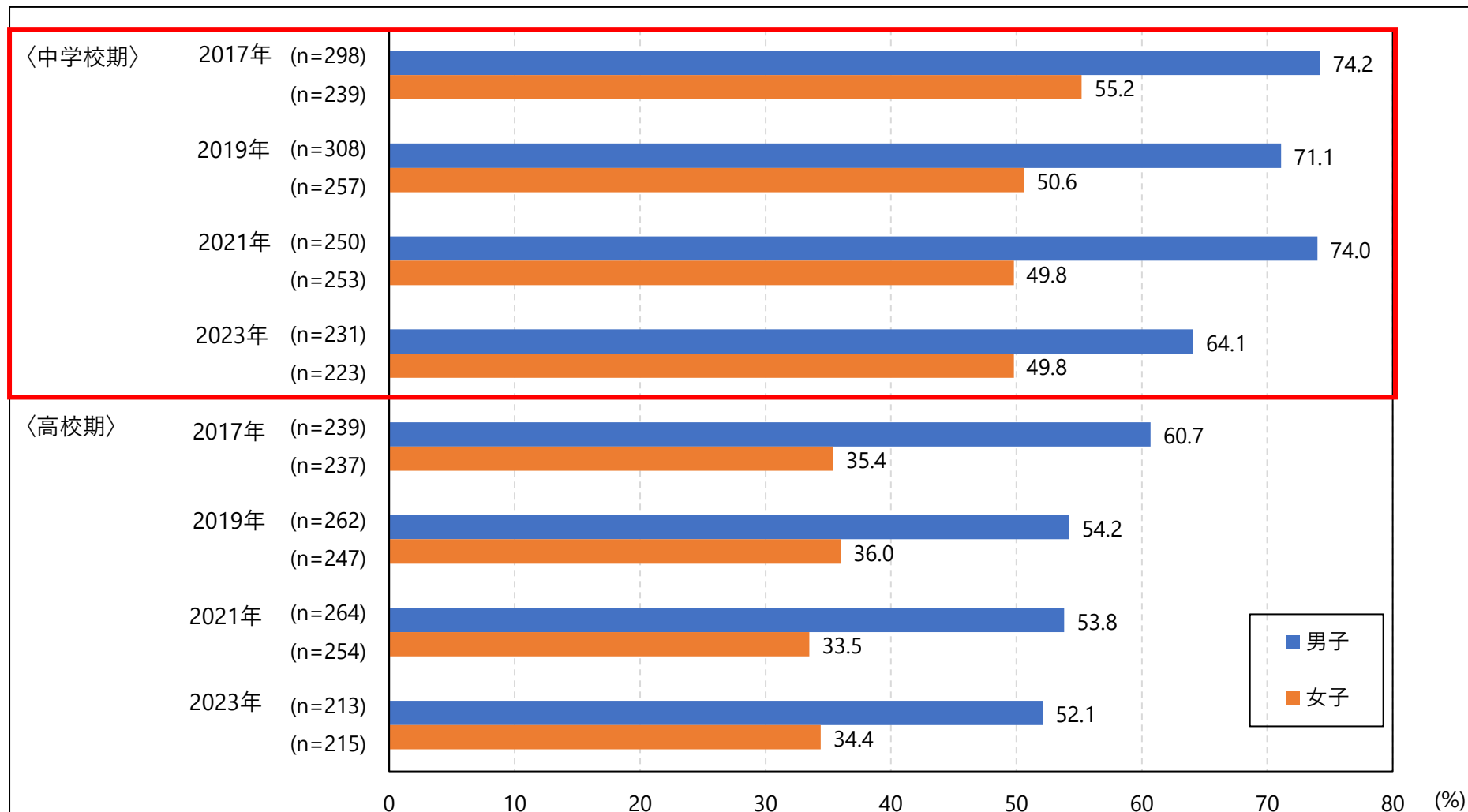


図1 12～21歳の運動部への加入率の年次推移(性別×学校期別)

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2017～2023

■ 中学校期

・男子

2017～2021年は70%台

2023年は64.1%に減少

・女子

2017年以降減少傾向

2021、2023年は50%を切る

■ 高校期

・男子

2017以降減少傾向

2023年は52.1%

・女子

2017年以降横ばい

35%前後の加入率

2.運動部活動の活動状況

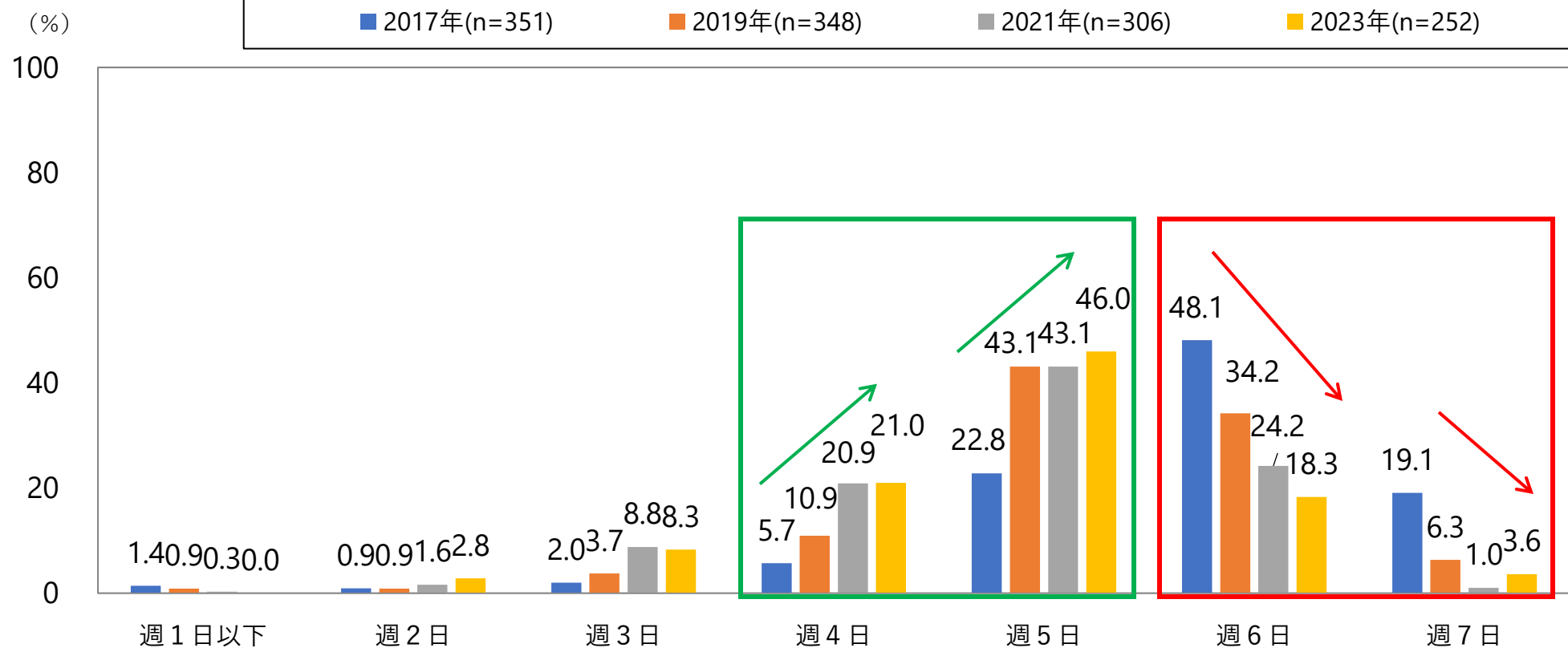


図2 運動部活動の週あたりの活動日数の年次推移（中学校期）

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2023

「週4日」「週5日」：2017年以降継続して増加
 「週6日」「週7日」：2017年から2023年にかけて大きく減少



中学校期の運動部活動の活動日数は減少傾向

2.運動部活動の活動状況

2018年に運動部活動
ガイドラインが制定
平日1日、休日1日の休
みを設けると明記される

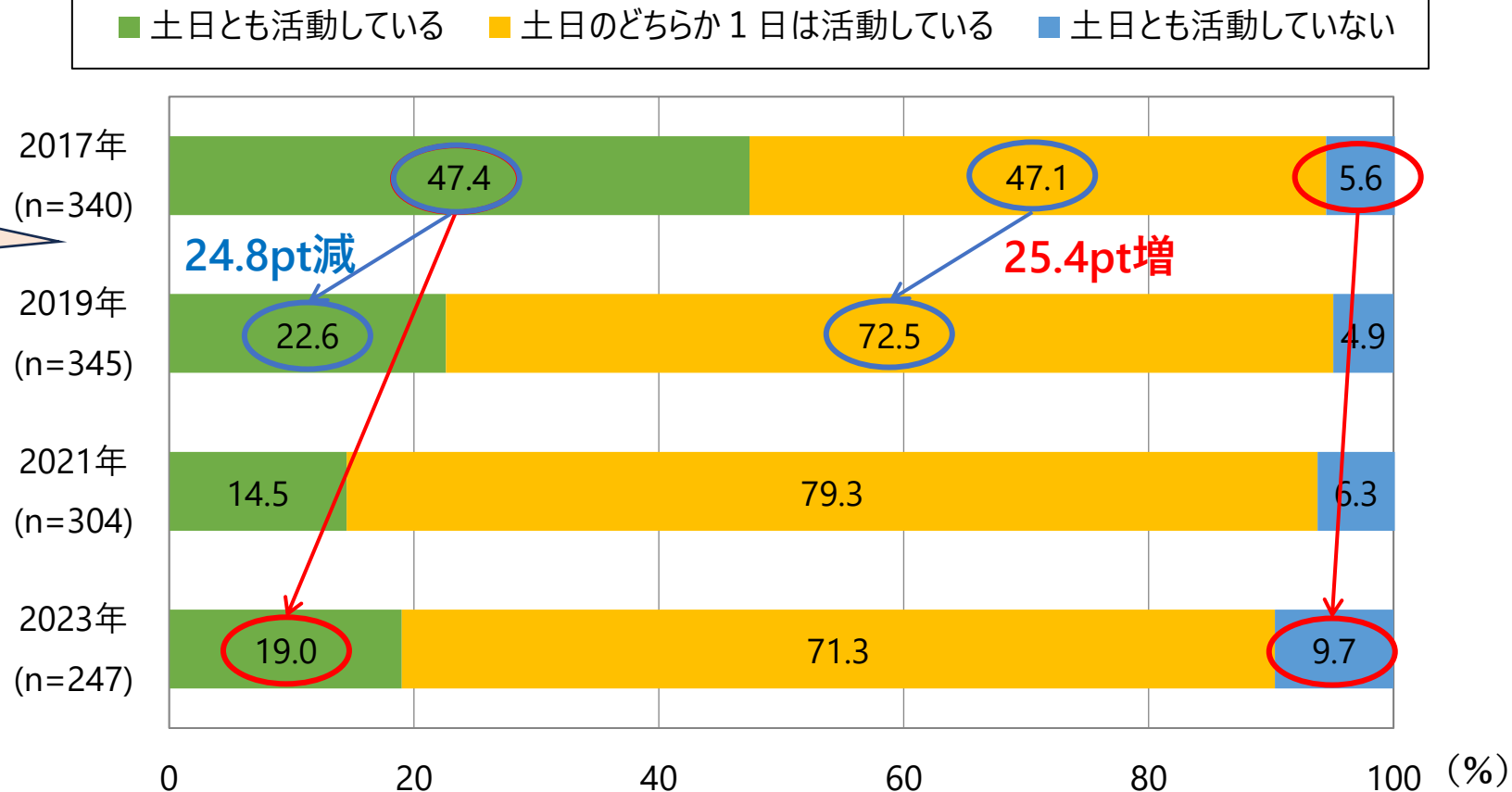


図3 運動部活動の土日の活動状況の年次推移（中学校期）

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2023

「土日とも活動している」は28.4ポイント減（47.4%→19.0%）
「土日とも活動していない」は4.1ポイント増（5.6%→9.7%）



中学校期の運動部活動の土日活動日数は減少傾向

2.運動部活動の活動状況

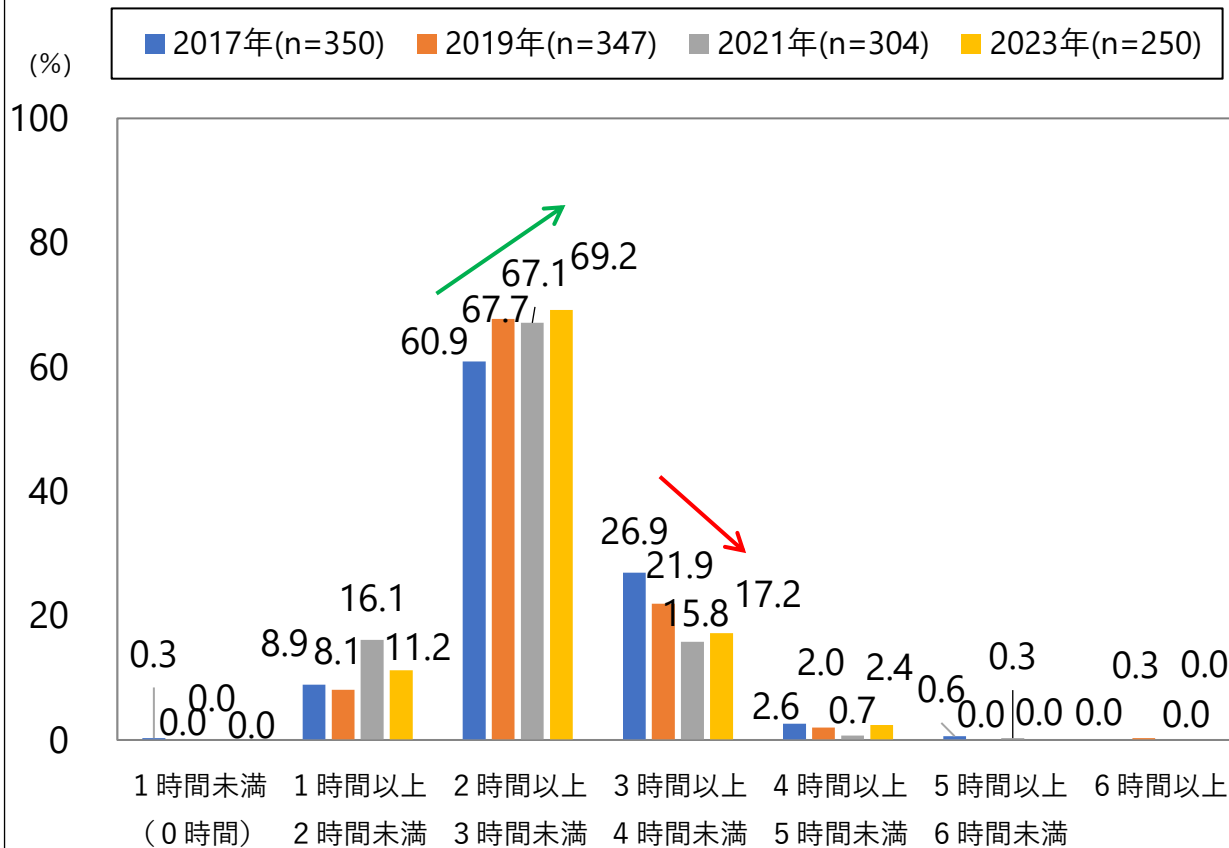


図4 運動部活動の1日あたりの活動時間の年次推移：平日（中学校期）

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2023

■平日の活動時間

「2時間以上3時間未満」：60.9%→69.2%（8.3ポイント増）

「3時間以上4時間未満」：26.9%→17.2%（9.7ポイント減）

➡ **中学校期の運動部活動の活動時間は減少傾向**

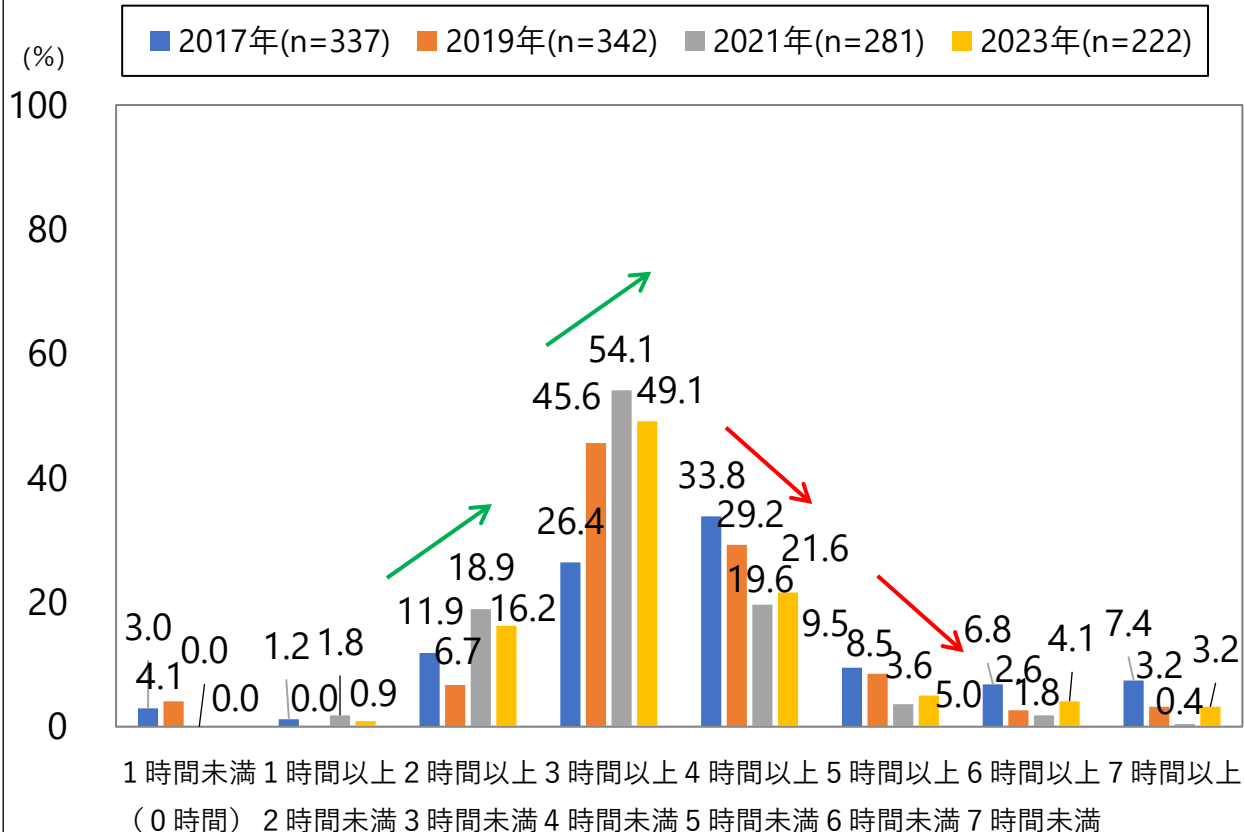


図5 運動部活動の1日あたりの活動時間の年次推移：土日（中学校期）

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2023

■土日の活動時間

「2時間以上3時間未満」：11.9%→16.2%（4.3ポイント増）

「3時間以上4時間未満」：26.4%→49.1%（22.7ポイント増）

4時間以上は総じて減少傾向を示した

3.運動部活動の活動状況と本人・保護者の希望

表1 運動部活動の実施状況と本人・保護者の活動希望（週当たりの活動日数・土日の活動日数）

	中学校期					
	A:実際の活動状況	B:本人希望	差①	C:保護者希望	差②	差③
週あたりの活動日数	n=252	n=243		n=287		
0日	0(0.0)	1(0.4)		0(0.0)		
1日	0(0.0)	0(0.0)		0(0.0)		
2日	7(2.8)	5(2.1)		4(1.4)		
3日	21(8.3)	25(10.3)		21(7.3)		↓
4日	53(21.0)	56(23.0)		68(23.7)		
5日	116(46.0)	89(36.6)	↓	103(35.9)	↓ ↓	
6日	46(18.3)	55(22.6)	↑	84(29.3)	↑ ↑	↑
7日	9(3.6)	12(4.9)		7(2.4)		
平均（日/週）	4.8	4.8		4.9		
土日の活動日数	n=247	n=243		n=284		
0日	24(9.7)	41(16.9)	↑	28(9.9)		↓
1日	176(71.3)	175(72.0)		215(75.7)	↑	↑
2日	47(19.0)	27(11.1)	↓	41(14.4)	↓	↑
平均（日）	1.1	0.9		1.1		

：そのカテゴリーで最も高い割合の項目

注1) 差①：AとBの差 差②：AとCの差 差③：BとCの差（％）。

注2) ↑ ↓：5ポイント以上 ↑ ↓：3ポイント以上。

注3) 回答に小数点があった場合は四捨五入した。

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2023

■本人希望

土日の活動日数

「0日」は本人希望が実際の活動状況より7.2ポイント高く、「2日」は7.9ポイント低い

→土日の活動日数を減らしたい。

■保護者希望

週あたりの活動日数

「6日」は保護者希望が実際の活動状況よりも11.0ポイント高い

→現状よりも活動日数が多くてもよい

3.運動部活動の活動状況と本人・保護者の希望

表2 運動部活動の実施状況と本人・保護者の活動希望（平日・休日の活動時間）

		中学校期				
		A:実際の活動状況	B:本人希望	差①	C:保護者希望	差② 差③
平日の活動時間		n=250	n=247		n=285	
0時間		0(0.0)	1(0.4)		0(0.0)	
1～2時間		201(80.4)	197(79.8)		216(75.8)	↓ ↓
3～4時間		49(19.6)	48(19.4)		65(22.8)	↑ ↑
5時間以上		0(0.0)	1(0.4)		4(1.4)	
平均（時間/1回）*		2.1	2.1		2.3	
土日の活動時間		n=222	n=211		n=257	
1～2時間		37(16.7)	63(29.9)	↑ ↑	43(16.7)	↓ ↓
3～4時間		158(71.2)	126(59.7)	↓ ↓	177(68.9)	↑
5時間以上		27(12.2)	22(10.4)		37(14.4)	↑
平均（時間/1回）*		3.4	3.1		3.5	

：そのカテゴリーで最も高い割合の項目

注1) 差①：AとBの差 差②：AとCの差 差③：BとCの差（％）。

注2) ↑ ↓：5ポイント以上 ↑ ↓：3ポイント以上。

注3) 回答に小数点があった場合は四捨五入した。

注4) 休日の活動時間は土日に活動している者を集計の対象とした。

* 0時間を除く

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2023

■本人希望

・平日の活動時間

実際の活動状況と本人希望に差なし

・土日の活動時間

「1～2時間」は本人希望が実際の活動状況より13.2ポイント高く、「3～4時間」は11.5ポイント低い

→ 土日の活動時間を減らしたい。

■保護者希望

・平日の活動時間

大きな差はみられない

・休日の活動時間

実際の活動状況との差はないが、本人希望よりも「1～2時間」は13.2ポイント低く、「3～4時間」は9.2ポイント高い

→ 現状の活動時間が好ましい

4.運動部活動に対する保護者の期待

表3 運動部活動に対する保護者の期待

順位		中学校期 (n=289)
1	スポーツを楽しむ	85.1
2	体力をつける	73.4
3	礼儀・マナーを身につける	64.4
4	チームワークを身につける	62.6
5	コミュニケーション能力を身につける	62.3
6	達成感を味わう	61.6
7	目標を見つけてがんばる	58.8
8	からだを動かす	55.4
9	自分で考える力を身につける	52.6
10	友達をつくる	53.6
11	健康を保持・増進する	33.6
12	技術を身につける	29.1
13	運動不足を解消する	22.5
14	大会で良い成績を収める	21.5
15	進学や就職に役立つ	11.1
16	放課後の居場所	6.9
17	忍耐力をつける	0.3
	特に期待していることはない	0.3

■保護者の期待

スポーツを楽しむ、体力・礼儀・チームワークなどを身に付けるが上位に入る

技術を身に付ける、大会で良い成績を収めるは30%未満



結果や成果よりも、楽しむ・心身の成長を期待

5.運動部活動の地域展開に対する保護者の意見

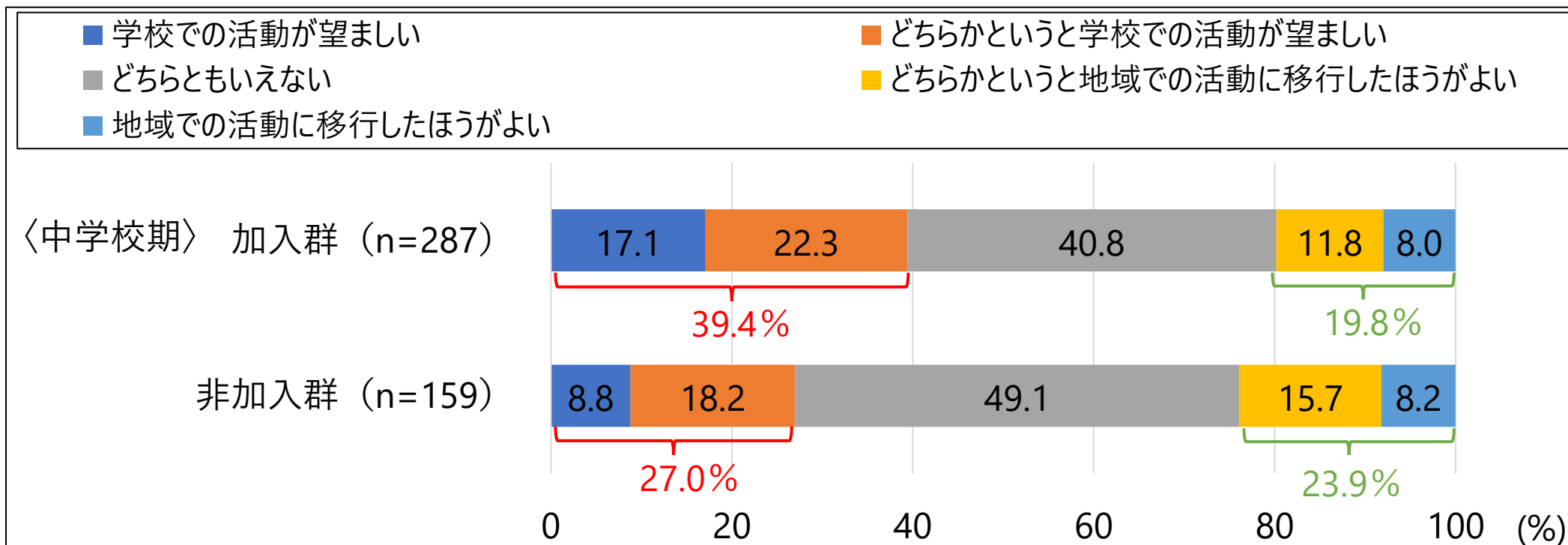


図6 運動部活動を地域のスポーツクラブ等が担うことに対する保護者の意見

注) 加入群・非加入群：子どもの運動部活動への加入状況

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2023

学校：加入群39.4% > 非加入群27.0%
 地域：加入群19.8% < 非加入群23.9%

6.運動部活動の地域展開に対する保護者の期待

表4 中学生保護者の運動部活動の地域展開に対する期待

順位		加入群 (n=287)	非加入群 (n=158)	合計 (n=445)	加入群 -非加入群
1	専門的な指導が受けられること	56.8	40.5	51.0	16.3
2	教員の負担軽減につながる	43.2	36.7	40.9	6.5
3	スポーツ技術の向上	46.3	27.2	39.6	19.1
4	他校の生徒との交流	32.8	18.4	27.6	14.4
5	子どものレベルに合った活動の実施	26.5	28.5	27.2	-2.0
6	設備の整った場所で練習できること	27.5	16.5	23.6	11.0
7	学校部活動にはない新たな種目の活動の実施	20.6	28.5	23.4	-7.9
8	今ある種目の活動の継続	24.4	12.7	20.2	11.7
9	多世代の地域住民との交流	11.1	5.7	9.2	5.4
10	進学や就職に役立つこと	5.6	3.2	4.7	2.4
11	その他	0.3	0.6	0.4	-0.3
	特に期待していることはない	6.6	21.5	11.9	-14.9

注1) 加入群・非加入群：子どもの運動部活動への加入状況

注2) ■：割合の高い上位3項目

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2023

加入群：専門性の高い活動や交友関係の広がりを期待

非加入群：子どものレベルにあった活動や新たな種目を期待

<運動部活動と総合型クラブの比較>

運動部活動のまま	総合型クラブへ
顧問によりバラつきあり	専門の指導者
負担は変わらない	負担軽減につながる
顧問によりバラつきあり	専門の指導者
合同部活等が必要	クラブメンバーによる
一律の指導方針	多志向
学校施設が利用できる	クラブの施設による
新しく部活を作る必要あり	多種目
顧問の異動、生徒数の影響	希望種目があれば継続可能
生徒のみ	多世代
活動内容による	活動内容による



総合型クラブが担うことにより保護者の期待に応えられるのではないかな？

総合型クラブへの期待は大きい

7.運動部活動の地域展開に対する保護者の心配や不安

表5 中学生保護者の運動部活動の地域展開に対する心配や不安

順位		加入群 (n=287)	非加入群 (n=158)	合計 (n=445)	加入群 -非加入群
1	送迎や練習サポートなど時間的負担	61.3	51.9	58.0	9.4
2	月謝や活動費など経済的負担	57.5	50.6	55.1	6.9
3	事故やトラブルが起きた時の責任の所在	27.9	28.5	28.1	-0.6
4	指導者からの暴力や暴言などのハラスメント	17.4	21.5	18.9	-4.1
5	地域移行の見通しがわからないこと	17.8	14.6	16.6	3.2
6	子ども同士の間関係への影響	13.2	21.5	16.2	-8.3
7	教職員との交流やコミュニケーションの減少	13.9	5.7	11.0	8.2
8	指導方法の変化や指導力の低下	10.5	11.4	10.8	-0.9
9	希望する種目がなくなること	8.0	3.2	6.3	4.8
10	進学・就職など進路への影響	2.4	2.5	2.5	-0.1
11	その他	1.4	0.6	1.1	0.8
	特に心配や不安はない	10.1	22.2	14.4	-12.1

注1) 加入群・非加入群：子どもの運動部活動への加入状況

注2) ■：割合の高い上位3項目

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2023

運動部活動への加入状況に関係なく保護者自身の時間的、経済的負担、事故やトラブル対応への心配や不安が大きい

<運動部活動と総合型クラブの比較>

運動部活動のまま	総合型クラブへ
負担は変わらない	送迎等必要なケースあり
安価で活動が可能	費用負担が発生
学校で対応が可能	安全管理体制の整備が必要
顧問によりバラつきあり	指導者の質の担保
行政の方針による	行政の方針による
これまで通りの関係性	メンバーによる
これまで通りの関係性	教職員との交流は減る
顧問の異動の影響あり	指導者の質の担保
顧問の異動、生徒数の影響	希望種目があれば継続可
活動内容による	活動内容による



総合型クラブだけで解決することが難しい
内容もある
心配や不安への対応策が必要

8.保護者が安心できるクラブ運営とは

運動部活動の地域展開が進み、総合型クラブが子どもたちのスポーツ活動の場になる場合



専門的な指導・教員の負担軽減・
子どものレベルに合った活動
保護者の期待には応えられる



移動の問題・費用負担・責任の所在
保護者の心配や不安への
対応策が必要



保護者が安心できるクラブ運営



指導者の数・質の確保
安定的なクラブ運営

保護者への周知
保護者とのコミュニケーション

行政や学校などと
協力できる関係性の構築